



子どもたちの興味関心を後押しする

園長 佐野 実

幼稚園教育では、子どもたちが主体的にいろいろなものに関わり、試行錯誤しながら自分にとっての意味を見出していくことを大切にしています。それをおして子どもたちの「学び」が成り立っていると考えるからです。「主体的」というと少々固くなりますが、日々の遊びの中で聞こえてくる子どもたちの言葉を借りますと「やってみた～い」「たのしいね～」「どうなってるんだろう？」といったところでしょうか。

年少はなぐみの子どもたちは、先日の親子遠足をきっかけにシャボン玉に興味をもち、空中に浮かんでとんで行く様子を見つめています。色水遊びにも夢中です。あるいは、自分が育てているインゲンを眺めては気付いたことを話してくれます。

年中ほし組の子どもたちは、様々なルールのおにごっこを楽しみ、元気に走り回っています。アジサイの花の色の変化に気付いて一生懸命に先生に説明する子がいます。年長さんが見せてくれたアゲハチョウやその幼虫をきっかけに、夢中になって飼育ケースをのぞき込み、絵本の「はらぺこあおむし」とつなげて考える子もいます。

年長そら組の子どもたちは、避難訓練で小学校に行ったことがきっかけになり「学校ごっこ」が始まりました。ここから子どもたちの探求が始まり、あらためての小学校の見学を経てごっこ遊びが深まりをみせています。また、育てていたアオムシがアゲハチョウになったことや、カタツムリが卵を産んだことを夢中になって説明に来てくれたりしています。

4月、5月と園での生活が進む中で、子どもたちの遊びが様々な形で充実してきています。また、外で遊ぶのにも動植物の成長を見るのにも適した季節です。子どもたちの興味関心を察知し、耳を傾け、その気持ちを後押ししたり深めるための環境を提供したりすることが私たち大人の役割だと思えます。子どもたちが自ら模索して考える力を伸ばして行けるように支援を続けます。



6月のねらい

- <年少> ・水遊びや新しい遊びに興味をもち、教師や友達と関わりながら遊ぶ。
 - ・簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。
- <年中> ・自分の思いを表しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
 - ・様々な素材に触れ、取り入れて遊ぼうとする。
 - ・水遊びや学級のみんなで遊ぶことを楽しむ。
- <年長> ・自分の思いや考えを伝えたり、友達の考えに気付いたりして、一緒に遊びを進める楽しさを感じる。
 - ・身近な環境に触れ、自分なりに試したり考えたりしながら、繰り返し遊ぶ。

梅雨から夏にかけての弁当について

食中毒予防のため、6月から当面の間、冷房の効いた保健室に弁当を集めます。

食べ物が傷みやすい季節です。生ものは避け火を通したものを入れるなど、弁当作りにご注意ください。

歯と口の健康週間について

6月4日～10日は、歯と口の健康週間です。大切な歯を守るため、食後のブクブクうがいや歯磨きの大切さを子どもたちに伝えていきましょう。特に、寝る前の歯磨きは、保護者の方の仕上げ磨きで、虫歯を予防しましょう。